

『17歳の肖像』 原題 AN EDUCATION 2009



難関名門の大学進学を目指し、フランス文化に憧れる17歳の少女が未知の世界へ向けて一歩踏み出す。そのとき、彼女が自ら選んだのは何か？

本映画では、ジェニーとデイヴィッド、両親、教師たちの考え、その「言葉」と「行動」に注目しよう。イギリス英語の慣用表現の他に、文学・音楽・絵画用語、比喩やスラング、簡単なフランス語も出現している。

映画紹介

『17歳の肖像』 AN EDUCATION (2009)

塚田三千代

時代は1961～62年。まだ戦後の耐乏生活から抜け出せずにいた頃の英国の人々は質素な生活をしていた。第二次大戦で急成長した米国は、大型乗用車キャデラックに乗り、ロッキンロールでにぎわい、海外オークションで名画や骨董品を競り落としていた。フランスはといえば、自由を謳歌し、サルトルやカミュの実存主義、シャネルの香水#5、GRECOのシャンソン、ファッションが流行する。

映画は、このような時代傾向を背景に、‘夢見る少女’から‘現実を直視できる大人’へと、心身ともに成長する英国少女の物語である。物語は大人になるターニング・ポイントは17歳の誕生日と決めている高校生ジェニーが、雨の日に栗色的高级車プリストルを運転する素敵

な青年実業家デイヴィッドに出会うところから始まる。

映画では、まず、その会話の巧みさ、つまり『**言葉の迫力**』に惹きつけられてしまう。登場人物たちは未来を期待し大学進学を奨励する高校教師、フランスは好きでないがユダヤ人には寛大で、娘の大学進学を「金のなる木」を育てるためだといいきる父親や、人生の楽しさは他にもある、君の才能は別のところで花咲くと説得するデイヴィッドや18～19世紀の名品を集めまわる外国人たちである。彼らの言葉に耳を傾けるなら、比喩をまじえて率直に話す言葉の『**Power of Words**』に共感できよう。今を生きる力強さと誠実さがこもっているからである。

ところで、ラファエロ前派サー・エドワード・バーン＝ジョーンズの名作「赦免の木」(※P.6/7)が象徴として、本映画ではよい映像モチーフになっている。

本映画の脚本はニック・ホーンビで、『アバウト・ア・ボーイ』の作家である。これを書くにあたっては英国の人気ジャーナリストのリン・バーバーが雑誌に載せた短い回想録を基にして脚色したということである。第 82 回米国アカデミー賞「脚色賞」にノミネートされた。

本来、言語は文化に密着するものである。本映画ではイギリス英語の慣用口語表現、比喩や文学・絵画用語やオークションでの競売価格、スラングやフランス語が、状況に応じて繊細なセンスある『**セリフ**』となり迫力がある。

ストーリー

少女ジェニーは 16 歳。ロンドン郊外に両親と共に暮らし、近くの私立学校に通っている。学校は女子の大学進学を奨励し、成績の良いジェニーは難関名門のオックスフォード大学を目指す生徒として教師たちから期待されている。ラテン語の落第点をのぞけば、他の科目はすべて合格点に達している。課外では音楽クラブでチェロを奏し、フランス語の会話も習い、聡明で美しく、人目をひく存在である。→ [このシーン1のセリフは P. 4-5 に掲載する。](#)

男の子から声をかけられ、ジェニーはお茶に招待する。お茶会といっても質素な家庭のお茶会である。初めて両親に男の子を紹介する。男の子が気難しい父親の気に沿うようにと気を使うジェニー。父親が娘の主導権を握っている家庭であることは一目瞭然である。

ジェニーの家ではいつも BBC 放送から海外ニュースやラジオ・コメディが流れている。母親は専業主婦で、それだけに親の期待は一人娘の将来にかけられている。いわば、人生＝教育、これがすべてである。ジェニーはこの期待に応えて勉学に打ち込むが、自分の部屋ではひとりでジュリエット・グレコのシャンソンを聞き、フランス文化に憧れる一面もある。

悩みはラテン語である。母親はラテン語の家庭教師をつけることを提案するが、父親はそんな出費はできないといって、夫婦喧嘩になってしまい、大学進学は金のなる木を育てるためだ、チェロの練習も夫を選ぶために必要だからだとさえる。この両親の口論を呆然としてきいているジェニーである。このシーンは映画の中では印象深い。→ [このシーンのセリフ2は](#)

P. 6-7 に掲載する。

そんなある日、学校からの帰路で、にわか雨でチェロが雨にぬれないようにと車で送ってくれた年上の男性デイヴィッドに、ジェニーは再び出会う。今度はジェニーが声をかけた。そして、教会の音楽会に誘われることになる。行くには、父親の許可がいるのだが、デイヴィッドは初対面の父親からジェニーを連れ出す許可をえる。父親とデイヴィッドが交わした会話は大人同士の信頼しあえる会話であった。デイヴィッドはじつに会話がうまく、人の心をとらえるのが巧みで、オックスフォードへの週末旅行の許可もとってしまう。→ **このシーンのセリフ3は P. 8-10 に掲載する。**

音楽会の後、ジェニーがデイヴィッドの友人宅を訪問して眼にしたのは、バーン=ジョーンズの油絵とチェロの名器である。どちらにも以前から興味があり、憧れの名品であったので、その素晴らしさや彼らの生活の贅沢さに圧倒されてしまう。そこでトニーが絵画売買に関わっていることを知って、美術オークションに出かけることになる。

イギリスきっての名門、クリスティーナ・オークションである。その日はちょうどサー・エドワード・バーン=ジョーンズの絵画が競売に出されていた。ジェニーはデイヴィッドに後押しされて、値を競り合ってついに名画を競り落とすことができた。これははじめてのワクワクする経験であった。

→ **このシーンのセリフ4は P.11-13 に掲載する。**

ジェニーの行動はこれを機に、次はオックスフォードへ週末旅行。そしてパリ旅行へとエスカレートしていく...

→ **このシーンのセリフ5は P.14-16 に掲載する。**

映画から選ぶ会話

本映画には、鑑賞者の心に響いて力強い言葉で交わされるシーンが多くあるので、いくつか取り上げてみよう。



1 学校の授業風景

・スタブズ先生の英語科目:「ジェーン・エア」・

シャーロット・ブロンテの小説「ジェーン・エアー」の主人公ロチェスター像をジェニーのボーイフレンドに重ねあわせ、これがクラスの関心事になっている。先生はなんとかして生徒を「ジェーン・エアー」の読書本体へひきつけようとするのだが、生徒たちは勉強よりもボーイフレンドに興味がある。

Miss STUBBS: I knew that Jane Eyre¹ would eventually work its magic on you.
I'm assuming that's what you were all so animated about.

みなさんはそのうちジェーン・エアーの魔法にかかるだろうと思ってましたよ。

みなさんがとても生き生きしていたので解ります。

JENNY: -Of course. そのとおり。

TINA: - Jane Eyre and Jenny's new boyfriend.
ジェーン・エアーとジェニーの新しいボーイフレンド。

JENNY: He's not my new boyfriend, actually.
新しいボーイフレンドじゃない、本当よ。

PUPIL: -He's got a sports car.
スポーツカーを持ってるのよ。

HATTIE: -It's maroon.
くり色の。

Miss STUBBS: So, could we call him a Mr. Rochester² figure?
それじゃ、その人を「ミスター・ロチェスター像」とでも呼ぶことにしましょうか？

TINA: I think he must be as blind as Mr. Rochester.
ミスター・ロチェスターのようにその人も盲目だと思います。

Miss STUBBS: You may or may not have noticed that I'm trying to steer the subject away.

みなさん、気づいたかどうか、私は話題をそらそうしているのですよ。

From Jenny's lurid love life into the matter in hand.

ジェニーの赤く燃えるような恋愛生活から今取り組むべきことへと。

And it is clear from this evidence³ that most of you know far too much about the former and next to nothing about the latter.

この宿題ではっきりしたのは、あなたたちほとんどがあのことは知りすぎるほどだけど、これについてはほとんど何もわかってないってことです。

Reluctantly, I have to admit that Jenny is clearly an expert on both.

¹ Romantic novel by CHARLOTTE BRONTE (1816-1865) 英国人3姉妹作家の一人

² Romantic hero of JANE EYRE

³ = the student's homework

しぶしぶですが、ジェニーは両方について専門家と認めることにします。

Excellent as always, Jenny.

いつもどおりに素晴らしい、ジェニー。

・ウイルソン先生のラテン語授業・

ラテン語は 50 年後にはすたれてしまうと思っても、この授業は必修となっている。とくに大学受験生にとっては避けて通れない科目。ちょうどテスト成績が返されている。学習させたヴァーギル(Vergilius 前 70-前 19)の叙事詩の翻訳を返しているところ。点数は%で示され、点数の悪い順に名前が呼ばれる。

Miss WILSON: Test results for the VIRGIL⁴ translation. We'll start from the bottom.

Patricia? Absent. Margaret....48%. Jenny....52%.

That would just about scrape a pass in the exam proper. Not good enough for Oxford candidates.

ヴァーギルの翻訳試験の結果です。下から始めます。パトリシア？欠席。

マーガレットは48%。ジェニーは52%、これはかろうじて合格です。

これではオックスフォード大学候補者としては不十分ですね。

⁴ ヴァーギル (Vergilius 前 70-前 19) ローマ建国神話を作ったロマンチックな詩人

2 クリスティーナ・オークション会場 (CHRISTIE'S AUCTION ROOMS)

映画の中で、美術オークションの光景が見られる。売買価格の数字がいきおいよく飛び交っている。

会場にはサー・エドワード・バーン＝ジョーンズの「赦免の木」が競売に出されている。絵画収集に夢中のダニーは先着。少し遅れてジェニーとデイヴィッドが到着する。絵画を売買する通貨は英国貨幣。絵の値段はギニーで売買されている。ロットナンバー順に出品される品に希望価格をどんどん指値して、最後に残った人に買う権利が与えられる。いわば一番高い指値で落札されるしくみ。

AUCTIONER: Any further bids? **これ以上の入札は？**

Sold then for 60 guineas⁵. **では、60 ギニーで落札しました。**

AUCTIONER: We now turn to Lot 41. **つぎはロットナンバー41。**

The Tree of Forgiveness by Sir Edward Burne-Jones.⁶

サー・エドワード・バーン＝ジョーンズの「赦免の木」です。

This is a rare opportunity to purchase a key work of the Pre-Raphaelite movement⁷.

ラファエロ前派の傑作を購入できるまれなチャンスです。

JENNY: -Is it that one? **あれのこと？**

DAVID: -Yes, that's the one. **そうだよ、逸品だ。**

AUCTIONER: 50 guineas? 20 guineas? Thank you.

50ギニー？20ギニー？ありがとう。

40? Thank you, sir. **40？ありがとう。**

Do I hear 60? **60ギニーでしょうか？**

80 guineas? Thank you, sir **80ギニー？ ありがとうございます。**

Another one, madam? 100 guineas? **もう一声、奥様？100ギニー？**

120? No further bids? **120ギニー？ それ以上はありませんか？**

DAVID: -Your turn. **きみの出番だ。**

JENNY: -What? **なにが？**

AUCTIONER: -Any further bids? **ほかにもっとありませんか？**

DAVID: -Your turn. **落とせ。**

AUCTIONER: Any more? **もっとほかには？**

⁵ old unit of British currency equal to £ 1.05.

⁶ ラファエル前派 Sir Edward Burne-Jones(1833-1898)の作品:「赦免の木」 1881-82 186 x 111 cm 現在所蔵:レディ・リヴァー美術館

⁷ The Pre-Raphaelite Brotherhood 19世紀中頃、ヴィクトリア朝のイギリスで活動した美術家・批評家(詩も書いた)から成るグループで、19世紀後半の西洋美術において、印象派とならぶ一大運動となったラファエロ前派。Dante Gabriel Rossetti は中心人物。William Morris もこのグループの一員。

DAVID: Quick! 早く!

AUCTIONER: 120 guineas from the very eager, new bidder.
とても安い値から初めて、120 ギニーです、新値はどうですか。
140, madam? 奥様は140?
Thank you. 160 guineas? 有難うございます、160ギニー?
180? Thank you. 180ギニー? ありがとう。
200 guineas? 220? 200 ギニー? 220?
Another one, madam? ほかに、奥様?
Sold for 200 guineas. 200 ギニーで落札しました。
Thank you. ありがとうございます。
Your name, please? お名前をどうぞ?

JENNY: Mellor. メイラー。

AUCTIONER: We move on to Lot 42... ロットナンバー42へうつります。

クリスティーナのオークションでバーン=ジョーンズの絵画を競り落として大喜びのダニーは、デイヴィッドとジェニーを自分のフラットへ招待する。その会話から、名画の価格も人気によって左右されることがわかる。

DANNY: Thank you very much. I couldn't have possibly bought it without you.

どうもありがとう。きみがいなかったらとても買えなかった。

DAVID: Just a couple of years ago you could pick one of them up for 50 quid⁸.
No one was interested.

2〜3 年ほど前には 50 ポンドもしていたのに、今はだれも興味がない。

JENNY: I would have been so interested.

わたしはずーと興味があったわ。

3 ジェニーの自宅：両親との会話

オックスフォード大学に合格するには、ラテン語の成績がやっとなぎりぎりだといわれたジェニー。これを知った両親がジェニーの成績アップ対策を思案する。母親のマージョリーは家庭教師を雇おうというが、父親のジャックは反対する。ジャックはしだいに感情的になって、激しくなじります。結局は将来に金持ちになれる弁護士と娘が結婚できるように、つまりオックスフォード大学へ入るのは「金の果樹木」を育てるのとおなじだという。花婿さがしのための大学進学だったら、もっとほかの選択肢もあるかもしれない。

⁸ = pound sterling 俗語で stg. と略し、英貨を表す。たとえば、£500 stg. などと。



- JACK: It's her Latin, isn't it? ラテン語の成績だな、そうだろ？
- MARJORIE: Everyone's doing their best, Jack.
みんながんばっているのよ、ジャック。
- JACK: But what if everyone's best isn't good enough?
だが、もし皆ががんばってなかったら？
What do we do then? どうする？
Perhaps the whole thing's been a waste of money, anyway.
たぶんこれまでの全部が金の無駄使いってことか、ともかく。
- MARJORIE: You don't mean that. そうじゃないでしょ。
- JACK: Well, what's she going to do with an English degree?
それでは、娘は英文学の学位で何をするつもりだ？
- JACK: If she's going to spend three years playing that bloody⁹ cello talking in French to a bunch of beatniks¹⁰ then I'm just throwing good money after bad.
娘がビートニク族どもにフランス語で話して、べらぼうなチェロの練習に 3 年もかけるのなら、損の上塗りをしているだけだ。
She might meet a nice lawyer there but she could do that at a dinner dance tomorrow.
金のある弁護士にそこで会えるかもしれないが、そんなことは明日にでも夕食つきダンス・パーティで出来るだろうよ。

聞いていたジェニーは食卓から立ち上がって両親の方へ進む。

- JENNY: Oh, because that's the point of an Oxford education, isn't it Dad?

⁹ 英・俗語 ひどく、べらぼうに

¹⁰ 50's socio cultural group subscribing to anti materialistic lifestyle.

そんな、そういうことがオックスフォード大学進学のための目的なんですね、お父さん。

It's the expensive alternative to a dinner dance.

それが夕食つきダンス・パーティの費用のかかる代案だなんて。

MARJORIE: What about private tuition?

家庭教師はどうなの？

JACK: Can anybody hear me? How much is this going to cost me?

誰か聞いているか？俺にいくら払わせるつもりだ？

MARJORIE: Five shilling¹¹ an hour. Maybe a little more for 'A' level¹²

1 時間に付き5シリング。A レベルだとたぶんもうちょっと。

JACK: Five bob¹³? We spend five bob here, we spend five bob there.

5シリング？ あっちで5シリング、こっちでも5シリング使い。

Next thing you know that's our savings down the drain¹⁴.

次は、貯金まで無駄にするってことだ。

MARJORIE: And what else are we spending five bob on? What else are we spending six pence on?

でも、5シリングを他にどう使っているの？6ペンスを他の何に費っている？

マージョリーはイスから立ち上がって叫ぶ。

JACK: Oh, nothing. No. Nothing. All of this is free. This vase... is free.

いいや、なんでもない。本当に、なんでもない。全部無料だからな。この花瓶もタダだし。

MARJORIE: It was actually, it was a present from Auntie Vi.

本当よ、ヴィーおばさんからもらったのよ。

JACK: That chair, this sofa, it's all free. We didn't have to pay for any of it.

あの椅子も、このソファも、皆タダだ。金を払う必要がなかった。

You see, that's the beauty of life¹⁵, Jenny.

ねえ、人生はこんなもんだよ、ジェニー。

You don't have to pay for anything. 金などなにも払わなくていい。

You know, there's a lovely Oxford tree growing in the garden.¹⁶

¹¹ = old unit of British currency.

¹² examinations taken at age 18.

¹³ slang for shilling シリングの俗語

¹⁴ = wasted

¹⁵ 美しきかな、人生

¹⁶ Here Jack is making sarcastic reference to the common phrase 'Money doesn't grow on trees.' –

ねえ、庭にはすばらしい「オックスフォード」の木が育っているじゃないか。

Lucky for you, because that's Oxford taken care of¹⁷.

おまえは恵まれているよ、「オックスフォード」のお陰で。

And there's a whole orchard of school trees so that school is free. **それから、学校の果樹園の果樹があるから学費はタダだ。**

And I think that there is even a private tuition tree in there.

それと、家庭教師の木までもあそこにはある。

I'll just go and check, shall I?

ちょっと行って調べてくる、いいだろう？

MARJORIE: Jack! ジャック！

JACK: It's alright, I'll only be a second. **大丈夫だ。ちょっとだけな。**

Because, I think there's a whole clump of them surrounding the pocket money¹⁸ tree.

小遣いの木を囲んでいる茂みがあると思うからな。

I'll just go and make sure they're all nice and safe, shall I?

全部いい感じで安全かをちょっと行って確かめてくるだけだ、いいな？

And by the way, you might be lucky.

ところで、お前は運がいいかもしれないな。

There might be a man with deep pockets¹⁹ growing out there because God knows you are going to need one.

そとには寛大で金持ちの男がいるかも知れない、神さまがご存知だ、お前が必要とするものを。

meaning, 'Be careful how much you spend as there is only a limited amount – as the basis for his argument.

¹⁷ Here means 'paid for'

¹⁸ = allowance given by parents to children for minor expenses.

¹⁹ = generous and wealthy

4 人の心をとらえる巧みな話術力

ジェニーが学校から帰ると、デイヴィッドが訪れて、両親となごやかに会話をしている。デイヴィッドは保守的な父親のジャックから、オックスフォード週末旅行にジェニーを連れ出す許可を取ってしまう。人の心をとらえたデイヴィッドの技とは？

DAVID: Shall I tell you what the first thing my grandfather did when he retired?

....was to say to my grandmother when she expired.

私の祖父が退職するとき一番初めにしたことを教えましょうか？

祖母が息を引き取る時に言うはずだったことですが、、、

JACK: - Oh, you do²⁰ all the Goons²¹?

そうか、君はラジオ・コメディの真似ができるのか？

DAVID: No, my Eccles²² is no good.

いえ、エクルズの役はあまり得意ではありません。

JACK: -Oh, no, you've got him. いやいや、きみは彼そっくりだよ。

DAVID: -No, no. いえ、いえ。

JENNY: Hello. ただいま。

JACK: Jenny....David does the most fantastic Bluebottle²³.

ジェニー、デイビッドはブルーボトル役が一番似あってるよ。

JENNY: -You came to see my parents?

両親に会いにいらっしまったの？

DAVID: -Why is that so hard to imagine? まあそういうことかな。

JENNY: Why are you drinking? It's not Christmas.

どうして飲んでるの？クリスマスじゃないのに。

JACK: There's a lot you don't know about us, young lady. We had a life before you came along²⁴.

まだ若いから、お前には分からないことがいっぱいある。だが、お前が生まれる前からの人生が俺たちにはあるからな。

JENNY: That's true. I'm only going on what I've seen for the last 16 years.

ほんとだわ。私はこれまでの16年間に見てきたことだけだもの。

MARJORIE: I'm trying to think what you missed....nothing much comes to mind.

あなたが出来なかった事を考えているの...たいしたことでないけど。

²⁰ = impersonate

²¹ Characters in British comedy radio program, 'The Goon Show'

²² Character from 'The Goon Show'

²³ Character from 'The Goon Show'

²⁴ = were born

JENNY: Anyway, I've got a huge pile of Latin translation to do.

とにかく、あたしはラテン語の翻訳の宿題がいっぱいあるので。

JACK: But you didn't tell us David went to Oxford.

デイビッドがオックスフォード大の卒業生だってこと聞いてなかったよ。

JENNY: No! I didn't. そうよ。言ってないわ。

DAVID: -For all the good it did me. たいしたもんだよ。

MARJORIE: -Isn't that funny? 面白くないの？

JENNY: Extraordinary. ぜんぜん。

DAVID: I was just telling Jack that I'm going back next weekend.

I go and visit my old English professor every now and again.

君のお父さんに来週オックスフォードへ行く話をしたんだ。時々、世話になった教授に会いに行くので。

JACK: See, that's what you need, Jenny. Someone on the inside track²⁵. -It's not always²⁶ what you know, is it, David?

そうさ、お前に必要なことだ、ジェニー。内部事情を知っている人がいるってこと。いつも知ってるわけでないだろ、デイビッド。

DAVID: -Too true. そのとおり。

Have you ever come across²⁷ Clive Lewis²⁸?

クライブ・ルイスに会ったことありますか？

JENNY: Dad's never come across anyone.

パパは誰にも会ったことないの。

DAVID: He wrote a children's book called 'The Lion, The Witch and The Wardrobe²⁹'.... that did very well, I believe.

彼は「ライオンと魔女と洋服ダンス...」という子供の本を書いて、うまくいったと思いますね。

MARJORIE: -C. S. Lewis. C.S.ルイスでしょ。

DAVID: Well, to us he was just the old codger³⁰ who taught Medieval literature³¹ but, I came to know him very well.

We just....got along³².

²⁵ = Someone with influence to help her gain an advantageous position in her attempt to gain entrance to Oxford university.

²⁶ Not always ...know: colloquial saying regarding nepotism – 'It's not what you know but who you know.'

²⁷ = encountered

²⁸ Clive Staples Lewis (1898-1963)

²⁹ 同著者の著作「ナルニア国ものがたり」(1950)の1巻：ライオンと魔女

³⁰ Affectionate word for a somewhat eccentric but amusing older man.

³¹ 中世文学

³² = had an amicable relationship

そのつまり、僕たちにとって彼は中世文学を教える年寄りの変人だったけど、知り合いになって。ちょっと仲良くなったんです。

MARJORIE: Jenny used to devour those books.

ジェニーはよくその本に夢中になって読んでいましたわ。



5 オックスフォード週末旅行の帰路

ジェニーは慔然として帰ろうとすると、デイヴィッドは誠実な自分の流儀で説きふせている。

ジェニーはなぜ...？

HELEN: Here, don't forget your case. スーツケース、忘れないでね。

DANNY: -Who's coming up for a drink? 誰が飲みにくるの？

HELEN: -Me. あたしよ。

JENNY: No, you go. I'll make my own way home.

ダメ。行って。あたしは帰る。

DAVID: Jenny! Jenny! ジェニー！ジェニー！

It's an old map. A Speed. それは古い地図だ。「スピード」の地図だ。

The poor dear didn't even know what it was. What a waste.

それが何か知らない哀れな人たちだった。なんという無駄なことを。

It shouldn't spend its life on a wall in wherever the hell we were. It should be with us.

We know how to look after it properly. We liberated it.

これはどこにあらうと、壁に貼っておいて終わりにするべきでない。僕らが持つべきだ。扱い方が分かっているからね。自由にしてやった。

DAVID: Liberated? That's one word for it.

自由にしてやった？ただこの一言につきる。

Don't be bourgeois, Jenny. You're better than that.

中産階級みたいにならないでくれ、ジェニー。君の方がもっといいんだから。

You drink everything I put in front of you, down in one, then you slam your glass down on the bar and ask for more.³³

君はボクが差し出すものを全部飲み、グラスをドンとカウンターに置いて、おかわりを頼む。

It's wonderful. すばらしいよ。

We're not clever like you so we have to be clever in other ways because if we weren't there would be no fun.

僕らは君ほど賢くないから、他の方法で賢くならなければならない。僕らがいなければ面白くないからね。

We have to be clever with maps....and.... you want to know what stats are?

僕らは賢く地図をつかわなければ。「スタッツ」って知りたいかい？

³³ Metaphor – means, she is eager for and open to new experiences.

Stats are old ladies who are scared of coloured people. So, we move the coloureds in and the old ladies move out and I buy their flats cheap. That's what I do. So, now you know.

「スタッツ」っていうのは有色人種を恐れているお年寄りのことなんだ。だから、僕らは有色人種を入れ、お年寄りに移らせて、彼らの家を安く買う。これが僕のやり方だ。わかっただろう。

And, if you don't like it, I'll understand, and you can go back to Twickenham and listen to the Home Service³⁴ and do your Latin homework...but, these weekends and restaurants and the concerts... they don't grow on trees³⁵.

それで、君が嫌かどうかわかるよ、トウイッケナムの自宅へ帰って BBC 国营放送を聞いてラテン語の宿題をする。だが、一緒にすごした週末やレストランやコンサートは、「木」には実らないよ。

This is who we are, Jenny. That's better.

これがボくらだよ、ジェニー。その方がいいんだよ。

HELEN: -Come on, you two. 二人とも、何してるの！

DANNY: -Come on! 早く！

DAVID: You can have my olive. Come on. ボクのオリーブをあげるからおいで。

I suppose you have homework to do? 宿題があるんだろ？

JENNY: You have no idea how boring everything was before I met you.

あなたに会う前はすべてがどんなに退屈だったか想像つかないでしょう。

Action is character, our English teacher says.

「行動が人物証明になる」って私たちの英語の先生が言ってる。

I think it means that if we never did anything we wouldn't be anybody.

これは何もしなかったら、何者にもなれないっていう意味だと思う。

And I never did anything before I met you.

あなたに会う前は、私は何もしてなかった。

And sometimes I think no-one's ever done anything in this whole stupid country... apart from you. Okay.

それから、この馬鹿な国で何かした人なんていないと時々思うの、あなた以外には。大丈夫よ。

³⁴ =The BBC home service, national radio station. Here used as a metaphor for leading a safe, suburban life.

³⁵ Reference to idiom: means he has to find a way of financing their extravagant life style.



6 復学を乞う

失意のどん底にいるジェニーだったが、復学するために、スタッブス先生の助けを求めに行く。

先生宅にはエドワード・バーン=ジョーンズの複製が飾られている。

Miss STUBBS: Come in. I didn't expect to see you again.

入って。また会うとはね。

JENNY: This is lovely. All your books and pictures and...

これ素敵。先生の本とか写真とか全部...

Miss STUBBS: Paperbacks and postcards, Jenny.

ペーパーバックと絵葉書よ、ジェニー。

JENNY: That's all you need, isn't it? 必要なものばかりですね。

Just somewhere to... I'm sorry I said those silly things. I didn't understand.

ちょっとどこかで、ごめんなさい。バカなことって。わかっていなかったのです。

Miss STUBBS: Let's forget about it. 忘れましょう。

JENNY: A Burne-Jones. バーン=ジョーンズですね。

Miss STUBBS: Do you like him? 好きなの？

JENNY: I do. Still. ええ。今でも。

Miss STUBBS: Still? You sound very old and wise.

今でも？ とても年にとって賢く聞こえるわ。

JENNY: I feel old... but not very wise. Miss Stubbs, I need your help.

年を感じますが、賢くないのです。スタッブズ先生、助けてほしいのです。

Miss STUBBS: I was so hoping that's what you were going to say.

そう言ってくれることを願っていましたよ。



【映画情報】

2010 年4月 17 日(土).より TOHO シネマズ シャンテほか全国順次ロードショー

配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

第 64 回英国アカデミー賞(BAFTA) 主演女優賞を受賞。

第 82 回米国アカデミー賞(作品・脚本・主演女優)にノミネート。

監督:ロネ・シェルフィグ 脚本:ニック・ホーンビー

主演:キャリー・マリガン/ピーター・サースガード/アルフレッド・モリーナ

製作:イギリス レーティング:PG-12 上映時間:1時間40分
字幕翻訳:野口 尊子/PG-12/

関連資料

★ the movie script online <http://www.imsdb.com/scripts/An-Education.html>